# 持続可能な薬物乱用防止教室の実践

ライオンズクラブ国際協会　３３０－Ｂ地区　薬物乱用防止・クエスト委員長
谷　川　　亘

横浜市立〇〇小学校(中学校)
校長　〇〇 〇〇 先生

「薬物乱用防止教室」開催のお願い

ライオンズクラブ国際協会330-Ｂ地区
〇〇〇〇ライオンズクラブ
会　長　　〇〇 〇〇

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
近年における薬物乱用問題が低年齢層にも拡大し、深刻な社会問題になっている状況にあります。
地域に密着した奉仕活動を行っているライオンズクラブ国際協会では、青少年に薬物乱用防止のための正しい知識を伝えるために「ダメ。ゼッタイ」を合言葉に薬物乱用防止教育認定講師による「薬物乱用防止教室」を全国の学校で実施しています。
この教室は、少年の薬物乱用を防ぐための知識を伝えるだけでなく、地域と学校が一体となり未来のある青少年を守り、健全な地域社会を形作る礎ともなるものと思います。
貴校におかれましてもライオンズクラブによる「薬物乱用防止教室」の開催をお願い申し上げます。

**薬物乱用防止教育認定講師とは**
ライオンズクラブ国際協会と公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センターが主催し、関係行政4省庁(文部科学省・厚生労働省・警察庁・内閣府)が後援する講師養成講座を受講、その過程を終了し認定された全国のライオンズクラブの会員です。
(呼称 薬物乱用防止教育認定講師)

**啓発教材**

※　講演料ならびに配布資料は無料です。
※　お申込は別紙用紙にてお知らせください。

【連絡先】　　ライオンズクラブ
担当　：　〇〇 〇〇　　電話　　mail

３３０－Ｂ地区において20数年に及ぶ薬物乱用防止教室を実施してきました。毎年“エース講師“が誕生しその活動が評価され教室数も順調に伸びました。これは地域社会に奉仕する、というライオンズクラブの精神にも合致した素晴らしいアクティビティであり、その意義を共有し多くのクラブが教室開催に奔走した結果です。

ところが、コロナ禍以前の薬物乱用防止教室の開催数は最盛期より減少し横ばいという状況でした。各地域で事情は様々だと思いますが大きな原因があります。

まず、各クラブ内での薬物乱用防止教育に対しての認識が共有されていないことが挙げられます。

当初はすべてのメンバーが同じ気持ちでスタートし、教室においては講師・サポートのメンバー共に講師の話を真剣に聞く、質問をする生徒の姿に感動することもあります。にもかかわらず、徐々に学校を訪問するメンバー数が減少傾向にあります。決まったメンバーが常に講師として前に立ち、メンバーも「彼は上手だね」「彼に任せれば大丈夫だ」「私にはとてもできないな」などなど・・・講師の温度差ができ、クラブ内での薬物乱用防止教育に対しての共通認識は徐々に崩れていきます。

それ以外に講師の高齢化、社会情勢の変化に伴ったメンバーの退会等原因は種々あると思いますが、教室開催数の減少に歯止めはかかっていません。

現在、日本国内の学校で行われている薬物乱用防止教室の約９％をライオンズクラブが担っていると聞きました。警察・薬剤師・社会福祉関係団体など多くの組織が一生懸命、教室を開いている中で私たちもより多くの教室を開催し、青少年に『ダメ。ゼッタイ』を広めていきたいと考えています。

その対策として当地区では今期『ワークショップ方式授業』を推し進めています。この授業形態は生徒が友達の声で薬物乱用の危険性を聞き、自分で薬物乱用はなぜ『ダメ！ゼッタイ』なのか考え、グループで真剣に討議・意見交換する生徒たちを見ると、メンバーがこの授業形態の大切さを認識します。それが次の「生徒と共に考える薬物乱用防止教室」に繋がり、教室数の増加になると思います。

この方式を実践するには１クラスあたり３名のメンバーが必要です。クラス数が５クラスを超えると単一クラブで行うことができない、という話を聞きました。

ライオンズクラブには地域ごとにクラブの集合単位としてゾーンならびにリジョンがあります。当地区にはこのゾーンを活用して薬物乱用防止教室の要請に対応している地域があります。

この地域は市内３クラブが持ち回りで幹事クラブとなり、行政との折衝、日程・人員等の調整を行い各クラブに教室を割り振り開催する。このやり方が永く続けられ市内の多くの学校に喜ばれて、毎年期首に要請されております。

現在３３０－Ｂ地区には31のゾーンがあります。各ゾーンに薬物乱用防止教室委員会を設置し、認定講師資格保持者は登録を行い、各クラブ協力の基に薬物乱用防止教育に対する認識を共有し、活動を充実させることにより、地域における学校や行政とより緊密な連携が図られ多くの学校に訪問できることとなるでしょう。

一人でも多くの生徒に薬物乱用の怖さを知ってもらい
一人でも多くの生徒が薬物乱用に手を出させない
このために、いつまでも続けていきましょう。

それでは、パワーポイント形式・ワークショップ方式の薬物乱用防止教室を紹介します。

# 高校におけるパワーポイント形式の実践

薬物乱用防止・クエストアドバイザー
小　池　和　子

スライド①

講師自己紹介
これから、皆様の身近で起きている薬物乱用の問題、特に若年層に乱用が広がっている大麻の問題について考え、もし違法薬物に誘われた時の断り方のスキルを学びます。

スライド②

麻薬・覚せい剤乱用防止センター製作　DVD
始めから４分間、薬物乱用の基礎知識を視聴する。
若年層に乱用が急増している「大麻」について正しい知識を習得してもらう。

スライド③

大麻の形態についての説明

スライド④

大麻の形態が変わり、大麻入り食品・クッキーなどインターネットＳＮＳを媒体としてより若年層が入手しやすい。
これらの製品は「見かけと違い、非常に危険なものである。」と認識する必要があります。
特に、大麻リキッドには麻薬成分であるTHCが含有されています。

スライド⑤

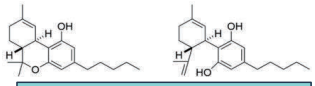
## 大麻草の成分

**THC（テトラヒドロカンナビノール）**

・継続使用により、精神作用・依存などの有害作用を引き起こす恐れがあり、現行の大麻取締法により規制されてます。

**CBD（カンナビジオール）**

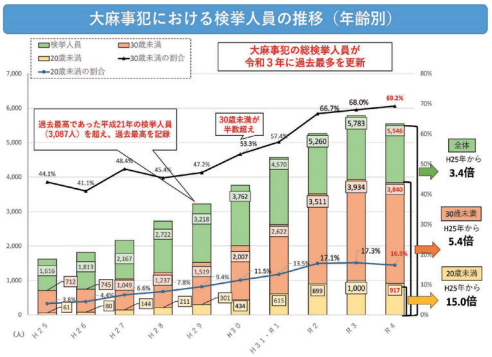
- 大麻草の成熟した茎や種子からのみ抽出された成分で、幻覚作用を有さず、毒性も比較的低いとされている。
- 海外を中心にオイル・サプリメントとして利用されている。



THC(左) と CBD(右) の構造式

大麻草の成分についてスライドを読み、THCは指定薬物「麻薬」、CBDはTHCが混入していない限り合法とされています。
輸入CBD製品の中には粗悪な製品もあり特に注意が必要です。

スライド⑥




「第五次薬物乱用防止五か年戦略」フォローアップ（2022年6月28日厚生労働省）

平成２８年頃より大麻事犯の検挙者が増加傾向にあり、令和３年に過去最多を更新し、特に３０歳未満・２０歳未満の検挙人数が急増しています。

スライド⑦

## 若者を中心に大麻検挙者が急増

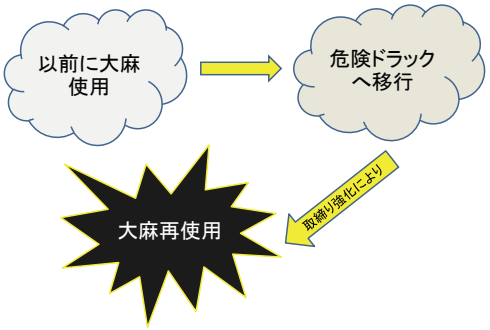
大麻事犯における検挙人員のうち30歳代の割合は全体の7割を占め、覚醒剤等の他の薬物に比べて、若年層の比率が高いことが特徴です。

理由を考えてみよう

大麻事犯における若者の検挙者が他の違法薬物に比べ急増したのかその理由を考えてみましょう。

スライド⑧

## 1.危険ドラックからの回帰




理由その１.危険ドラックからの回帰
以前に大麻を使用していた人が、数年前に社会的問題となった「危険ドラック」使用に移行しかし、２０１４年薬事法改正により危険ドラックの取締り強化により実店舗が閉鎖されたため大麻を再使用したことが考えられます。

スライド⑨

## 2. 大麻に対する認識の甘さ

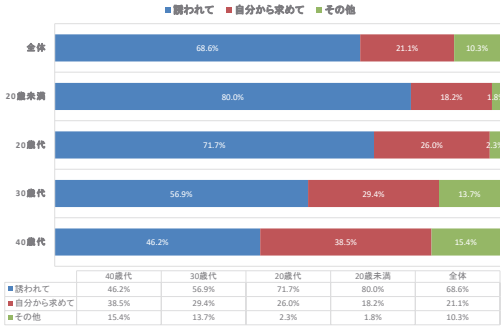
大麻は他の違法薬物に比べ害が少ない⁉

依存性が無い⁉

情報化の時代、大麻に関する情報もたくさん発信されています。
大麻は他の違法薬物に比べ「害が少ない」・「依存性がない」・「海外では合法」という情報もあり、このような誤った情報が若年層の大麻に対する警戒心を薄れさせ安易に大麻を使用する。

スライド⑩

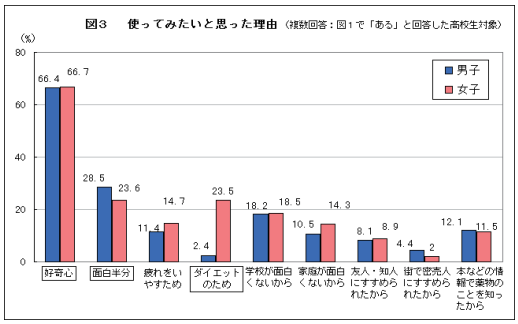
## 初めて大麻を乱用した経緯




| | 40歳代 | 30歳代 | 20歳代 | 20歳未満 | 全体 |
|---|---|---|---|---|---|
| 誘われて | 46.2% | 56.9% | 71.7% | 80.0% | 68.6% |
| 自分から求めて | 38.5% | 29.4% | 26.0% | 18.2% | 21.1% |
| その他 | 15.4% | 13.7% | 2.3% | 1.8% | 10.3% |

大麻使用のきっかけや動機は「誘われて」、「興味本位で」が２０歳未満、次いで２０歳代が最多なっています。

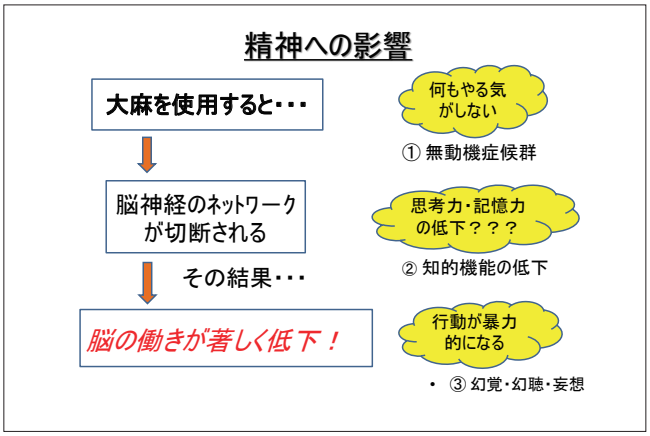
### スライド⑪




引用：www.soumu.go.jp薬物乱用問題に関するアンケート調査結果(参考)

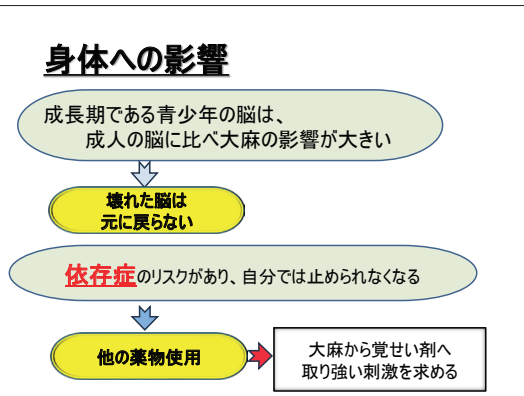
使ってみたいと思った理由についての説明
好奇心・面白半分という安易な気持ちで使用する。特に女子の「ダイエットのため」に注意が必要です。
皆さんも若者が『なぜ、大麻を使うのか？』考えてみましょう！

### スライド⑫



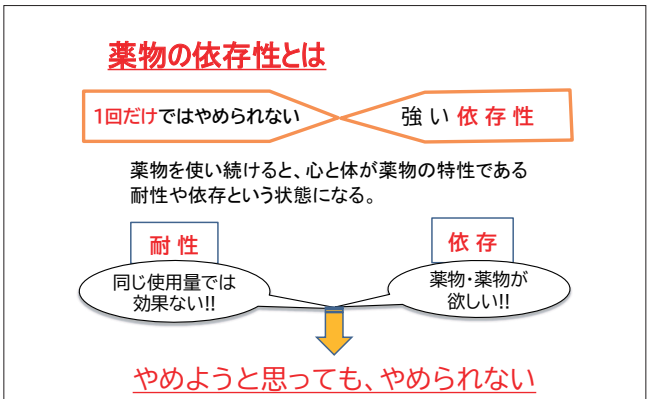

精神への影響についての説明
①~③の症状が現れた場合、どのような行動をとるのか生徒に問いかけを行う。
例‥無動機症候群→不登校・離職など

### スライド⑬




人間の脳は20歳ころまで成長をしています。
青少年の違法薬物の使用は特に悪い影響を受けやすく、繰り返しの使用により依存症のリスクもあります。

### スライド⑭



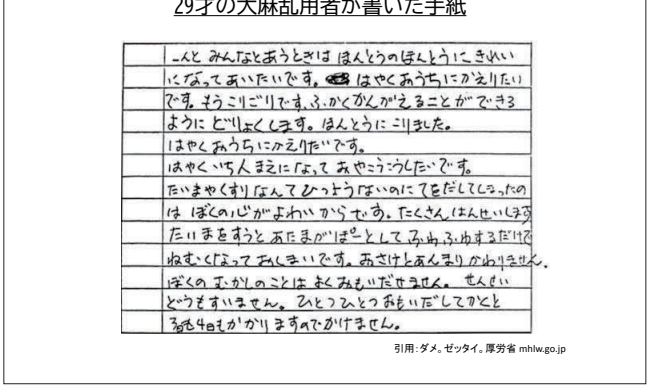

薬物の依存性についての説明
依存性とはその薬なしではいられない精神状態をいい、繰り返しの使用により「耐性」が生じより強い刺激を求め他の違法薬物を使用するようになる。常に薬を求める状態となり、自分の意思だけで止めることはできません。
ストレスなどにより精神異常が再発し、「幻覚」「幻聴」の症状が現れるフラッシュバックにも触れる

### スライド⑮

※出典：厚生労働省「薬物乱用防止読本　健康に生きようパート36」

脳に作用する成分「THC」の有害性につきまとめます。
大麻の心身へ害はすぐに発症はしにくい、10代から習慣的に使用している人は、成人になってから精神疾患やIQが低下する。
使用前の自分に戻ることは無理であり、大麻の本当の怖さなのではないだろうか。

### スライド⑯



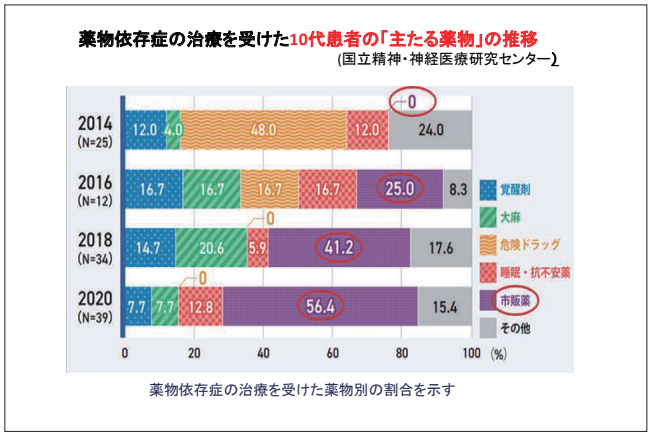

引用：ダメ。ゼッタイ。厚労省 mhlw.go.jp

29歳の大麻乱用者が書いた手紙です。
ほとんどがひらがなで、漢字が使用されていません。生徒に読み上げてもらい、感想を聞きます。

スライド⑰

乱用される薬物は違法薬物だけではありません。
法の規制がされていないドラックストアで購入できる市販薬の用量・用法をを守らなければ「薬物乱用」になります。

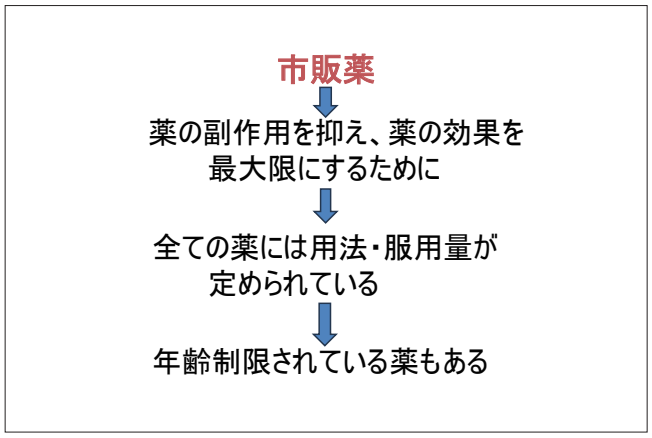
スライド⑱




薬物依存症の治療を受けた薬物別の割合を示す

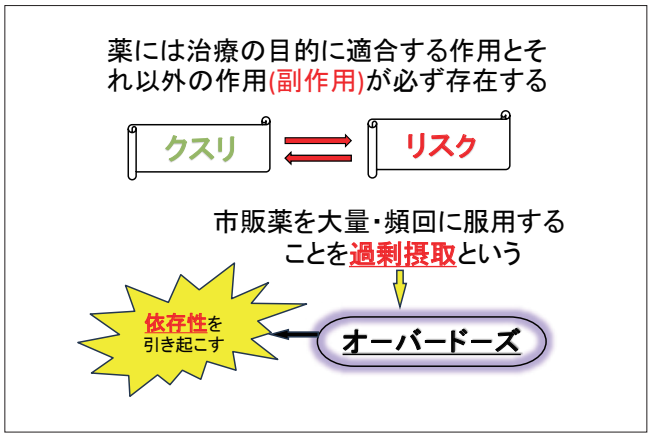
国立精神・神経医療研究センター・薬物依存研究部の統計グラフであり、年度ごとの薬物依存症受診者の薬物別の割合です。
市販薬の割合は2014年は0%、徐々に増加し2020年には6割弱にまで増加しています。
これらの現状を踏まえ、市販薬の過剰摂取について一緒に考えてみましょう。

スライド⑲



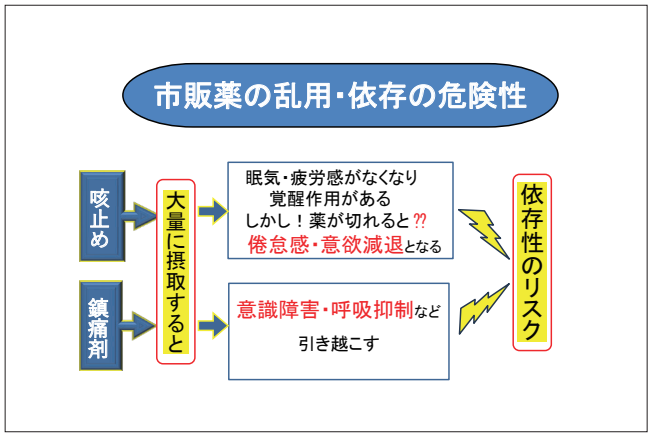

スライドを読み上げます。

スライド⑳



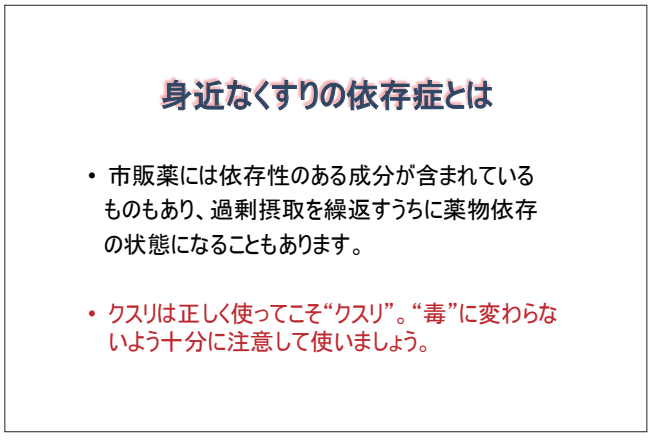

全ての薬には副作用が存在します。市販薬でもルールを守らず一度に大量の薬を摂取する。
繰り返すうちにそれまでの量では効かなくなり、さらに服用を続け、自力ではやめられなくなることがあります。

スライド㉑




咳止薬(シロップ)・鎮痛剤の危険性についての説明
継続的な大量服用により「依存性」のリスクがあることを伝える。

スライド㉒




身近な薬(市販薬・処方薬)についてまとめます。
クスリは病気やけがを治すために研究を重ね作られたもの、体の「毒」にならないよう普段から用法をきちんと守る・取り扱いには注意をすることが大切です。

スライド㉓

もし・薬物を誘われたら
あなたはどれかな ⁇

断り切れるか不安

キッパリ断る

相手にも止めるように言える

キッパリ断れるように自分の言葉で考えよう‼

もし、実際に薬物への誘いがあったらどう対処しますか？
3つのケ-スを視聴し、それぞれのケ-スに自分だったらどう断るかみんなで考えてみましょう。

スライド㉔

違法薬物の断り方

(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターDVD
誘われる場面を視聴します(約7分)
視聴後、生徒の意見を発表してもらいます。

スライド㉕

断り方のヒント

☆ はっきり「NO！」と言う。
→ 私は薬物なんか使わない。
★ 話を変える・別の提案をする。
→ 昨日の〇〇テレビ見た。など
☆ 「そんなこと誘わないで」自分の気持ちを言う。
★ 同じ言葉を繰り返し断る。
☆ 断り切れない場合は、早くその場を離れる。
→ 逃げるが勝ち

断り方のヒントを読み上げます。
質疑応答。

スライド㉖

本日のまとめ

・大麻の害は「脳への障害」と「依存性」である。
・薬物で侵された脳は、元には完全に戻らない。
・依存症の症状は薬物の使用を止めても残る。
・市販薬・処方薬の乱用は依存のリスクがある
・薬物乱用は他の犯罪に走ったり、他人に迷惑をかける。

スライドを読み上げまとめる。

スライド㉗

ライオンズクラブからメッセージ

自分の将来の夢や希望を大切に

薬物は ・・・・・ ☆買わない
☆使わない
☆かかわらない

愛する自分を大切に‼

ライオンズクラブからの生徒へのメッセージを読み終了。
有難うございました。
生徒からのお礼の言葉があります。

# グループワーク方式で行う薬物乱用防止教室 ～小学校編～

横浜旭ライオンズクラブ
吉　田　正　利

横浜旭ライオンズクラブでは、2010年より薬物乱用防止教室（クラス別開催）に取り組んでおります。当初は麻薬・覚せい剤乱用防止センターで発刊している冊子を利用して児童に説明していくレクチャー方式で行っていましたが、説明するための講師スキルのバラツキからか、児童からの反応も少なく、改善できないかと議論した結果、2011年より講師からの説明は本当に大切な説明のみにとどめ、児童同士が自主的に話し合うグループワーク方式を取り入れました。

奇しくもこの取り組みは当時の教育の現場でも推奨し始められてきたアクティブ・ラーニングという教師からの一方的な説明を行うティーチングや個人で学ぶ自学自習とは異なり、教師や他の児童と意見を交わしあうことで学びの質を高める手法であり、人との関連性を意識しなくてはいけない薬物乱用防止に対する取り組みと合致するものでした。

進め方としては当クラブでは薬物乱用防止委員会を単一の委員会として立ち上げており、委員長１名、副委員長３名以上でチームを作っていますので、一人当たり約９校の担当を受け持って事前打ち合わせや当日の教室開催を担っていくことで、誰か一人に負担がかかるようなことのないようにしています。

毎年４月に当クラブの活動地域である横浜市旭区内にある中学校11校、小学校24校に向けて薬物乱用防止教室開催のご案内文と開催要望書を各校に送付します。初めのうちは地元で課外授業の農業指導やPTA会長として学校に関係しているライオンズメンバーから話を広げていきました。

各学校から開催要望書をFAX等で受けてから、内部で担当者を中心に開催日と事前打ち合わせ日程を確認します。事前打ち合わせは開催日の１か月前から２週間前に調整させていただき、実際の打合せでは主に開催要望書に記載していただいていた内容変更の有無、駐車場の有無、配慮の必要な児童の有無、教職員の方が気になっている内容について打ち合わせをします。以前はなかった薬物の過剰摂取をしている疑いのある児童がいるケースや保護者が薬物事犯で検挙されてしまったケースの相談もでてきてしまいました。二度と戻れないといった表現は使わないで欲しいといったお願いを受けると悲しい気持ちになる反面、だからこそしっかりと薬物乱用の危険性について正しく伝えていかなければと身が引き締まります。

薬物乱用防止教室の開催当日は開講時間の30分前に学校に入り、打合せスペースをお借りして開講前のライオンズメンバーの打ち合わせを行います。ここで普段は別々に活動しているライオンズメンバーに事前打ち合わせの結果として注意しなければいけないことや最近の薬物事犯や薬事法改正状況などについて話し合いを行います。また注意が必要なクラスがある場合は経験豊富な講師を割り当てるなど考慮して担当クラス分けも行います。

実際の講義では、冒頭に挨拶からライオンズクラブの紹介、今日の流れを経て動画視聴開始まで２分程度で済ませます。動画視聴時間を17分前後として、合わせて20分程度で終了させます。

動画視聴中には黒板を使ってグループワーク後の発表時に

# 「薬物乱用防止指導者のための実践講座」

使う絵をいくつか書いておきます。確実に描くのはタイトルとしての「薬物乱用防止教室」です。最後のまとめで薬物の種類とともに「どのような薬物」を「どのように使用すると乱用」になるのかとお話しするためにも使っています。

２つ目はタイムスケジュールです。10：40開始で45分授業の場合なら「～11：00 動画視聴」「～11：10 グループ討議」「～11：20 発表」「～11：25 まとめ」のように各ステップの終了目安時間を記載していきます。これにより児童も含めて時間厳守で講義を進める意識を持ってもらいます。

３つ目にグループ分けですが、最も多い形は黒板から見た時に３列で前後の６グループに対して、どのテーマについて討議してもらうかについて記載しておきます。準備している討議テーマとしては、５つのシチュエーションでロールプレイングをしてもらっています。「A.知らない人に、別の人に渡してと中身のわからない物を渡してと頼まれたとき」「B. １度だけなら大丈夫だよ。ちょっとだけだから大丈夫だよ。と何かわからない物の使用を誘われたとき」「C.お菓子みたいなものだよ。やせられるよ。と禁止薬物の使用を誘われたとき」「D.みんな使っているよ。使ったら仲間に入れてやるよ。と禁止薬物の使用を誘われたとき」「E.友達が禁止薬物を使っていることを知ったとき」というテーマと動画の感想について考えてもらっています。これらのアルファベットをグループの絵に追加して自分たちのグループがどのテーマについて話し合うのかわかるようにしておきます。

動画視聴が終わりましたらグループ討議の時間です。割り振った内容について動画を参考に考えていただきますが、その間にも各グループに薬物標本を見てもらい乱用されている薬物がどのように出回っているか知ってもらいます。だいたい６～８グループに対して10分間で回らなければいけませんので１グループあたり１分の説明を行って、ちょっとした質問に30秒ほどで回答できるようにしておきます。その際に確実に伝えるのはMDMAを１錠飲んで死んでしまった人がいるというお話です。１度だけ、ちょっとだけという気持ちで手を出して死んでしまうケースもあるということを認識してもらいます。

発表ではこちらが児童に気付いて欲しいキーワードを発表してくれるか注意します。以前は「薬物乱用は体にとって『毒』である」というメッセージをメインで伝えていましたが、最近では自分自身を守るためにできることの３つとして「断る」、「逃げる」、「受け取らない」のキーワードが出ているか、そして状況を改善するためにできることとして「保護者、先生、警察などに相談する」というキーワードが発表されているか確認します。議論を掘り下げるため、「本当に言い切れる？」「いじめられている苦しさから逃れるためだとしても同じことがいえる？」といったようにもう一度考えてみて欲しい気持ちを伝えます。限られた時間ですが５秒の沈黙を作ってあげるだけでも、児童はその瞬間にイメージしてくれます。さらに追加で中国などいくつかの国には薬物を所持していただけでも死刑になる国があり、実際に中国で７人の日本人が死刑判決を受けて刑を施行されている事例の話をすると一気に受け取ることの怖さを感じてもらえます。

まとめの際にはA3で印刷しておいたフリップを利用して脳がシンナーにより委縮してしまった写真などを見せて、危険な薬物を再確認し、質疑応答を行った後、確実に覚えておいて欲しいキーワードを復唱したりクイズ形式にしたり「薬物乱用は」とこちらで言って「ダメ。ゼッタイ。」を復唱してもらい、確実に心に残してもらえるように工夫も行います。最後に修了証書を渡して薬物乱用防止教室を終了しますが児童からの感想で「薬物乱用が本当に危険なことだとわかりました。薬物乱用に誘われることがあっても断ります。」といった感想をいただくと、私たちの言葉をきちんと受け取ってくれていることがわかり温かい気持ちになります。

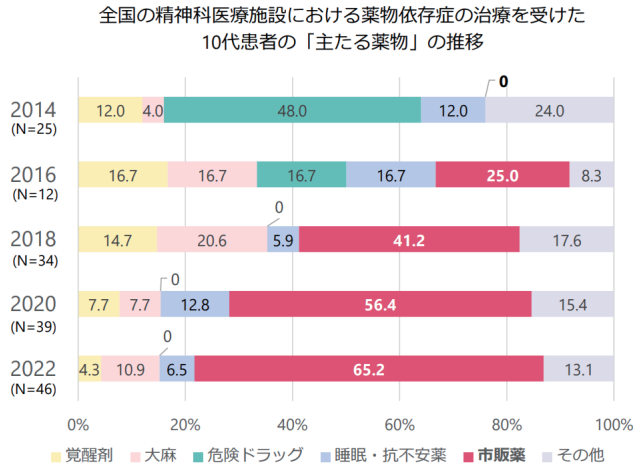
# 薬物乱用防止教室の冒頭でくすり教育を

一般社団法人 くすりの適正使用協議会理事長　**俵木　登美子**

昨年12月、OTC医薬品を過剰に摂取した小学生が体調不良を訴え病院に搬送されました。

現代に生きる私たちは、高度に進歩した薬物療法の恩恵を受けており、小さいころから生涯にわたって医薬品に助けられて生活しています。医薬品との上手な付き合い方を身に付けることは健康な生活を維持するためにも重要なことで、子供のころから継続した「くすり教育」が重要です。

厚生労働省の資料によれば、薬物依存症の治療を受けた10代患者の主たる薬物としては、OTC医薬品が急増しており、「覚せい剤、大麻をはるかに超えています（図）。」さらに、冒頭に記載したニュースでも分かるように低年齢化が心配される状況です。




出典：全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査（2022年）（国立精神・神経医療研究センター）
（令和４年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（医薬品医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業））

図　厚生労働省　第9回　医薬品の販売制度に関する検討会（2023.10.30）
資料４－１より抜粋

薬物に手を出すことの危険性を子供たちへ教えるために、全国で薬物乱用防止教室が実施されています。今は違法薬物だけでなく、薬局で普通に購入できるOTC医薬品であっても、使用のルールを守らなければ「薬物乱用」になることを子供たちに伝えていくことが必要です。

学習指導要領においては、中学・高校では医薬品について学ぶことが規定されていますが、小学校には医薬品についての規定はありません。そのため、小学校での「くすり教育」は必須ではなく、中学・高校に比べると実施率が低いのが実態です。

一方、多くの小学校で薬物乱用防止教室が開かれています。協議会では、その冒頭に簡潔な「くすり教育」の話を入れていただけるよう、3分程度の小学校高学年向けの「くすり教育」用ショート動画を作成しました。子供たちに人気のサッカーを題材にして、サッカーにルールがあるように、医薬品の使用にもルールがあることを学び、使い方などにルールの無い薬物乱用の話に続けてもらうことを想定しています。動画に加えて、小学生が知っておくべきルールを解説するスライドを用意し、動画視聴後に子供たちに考えさせる仕掛けにしています。動画とセットで約10分の想定です。さらに、動画と解説スライドを使って授業をされる先生方に有効に活用いただくためのポイントをまとめた活用ガイドも用意しています。

実際の小学校での授業で、ショート動画を利用した学校薬剤師の方からは、ショート動画は子供たちの興味を引き付けて、動画視聴後のスライド中の問いかけにも積極的に挙手があったと好評をいただいています。

乱用の対象が合法な医薬品にまで広がりつつある今、薬物乱用防止教室実施の際に、協議会作成のショート動画を是非ご活用ください。

くすり教育担当者のための教材サイトはこちら
**https://www.rad-are.com/items/**

ショート動画の視聴はこちらから（youtube）

# 【賛助会員入会のご案内】

## 当財団の事業目的に賛同していただける方（企業・団体・個人等）の賛助会員を募集中

青少年への薬物乱用防止啓発活動、 認定講師育成やボランティア支援、UNODCを通じた国際協力などの様々な活動は、皆さまからの継続的なご支援に支えられています。

**賛助会員**

**寄付**

お申込みはQRコードより
○クレジットカード
○オンライン受付
がご利用いただけます

また寄付は
○銀行振込
○Amazon Payにも
対応しています


介護付有料老人ホームと在宅福祉のご案内です。

直下型地震にも対応
安心の免震構造
●シルバービレッジ日野東館

多摩モノレール
甲州街道駅徒歩1分！！
●シルバービレッジ日　野

八王子市宮下町
●シルバービレッジ八王子西

在宅福祉部
●居宅介護支援事業所
シルバービレッジいちょうの里
●訪問介護事業所
シルバービレッジいちょうの杜
●セカンドライフ応援倶楽部
シルバービレッジいちょうの実

「ゆったりと安心の毎日」をお届けしています。
シルバービレッジ

パンフレットのご請求は
0120-19-0432

ホームページ シルバービレッジ 検索

株式会社シルバービレッジ　代表取締役会長　石井　征二（八王子陵東LC）